



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日  
上場取引所 東

上場会社名 ウイン・パートナーズ株式会社  
コード番号 3183 URL <http://www.win-partners.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋沢 英海  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 松本 啓二 TEL 03-3548-0790  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	35,179	4.6	967	△12.7	972	△12.3	702	△5.2
2023年3月期第2四半期	33,616	7.9	1,107	△5.8	1,108	△5.9	741	△7.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 704百万円(△4.5%) 2023年3月期第2四半期 737百万円(△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	24.71	—
2023年3月期第2四半期	26.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	42,277	22,215	52.5	777.71
2023年3月期	43,883	22,782	51.9	801.64

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 22,215百万円 2023年3月期 22,782百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,500	6.6	2,830	14.6	2,830	14.4	1,930	△5.7	67.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、当社は株式会社トライテックの全株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	30,503,310株	2023年3月期	30,503,310株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,937,823株	2023年3月期	2,083,573株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	28,443,630株	2023年3月期2Q	28,419,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当該業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症に移行されたこと等から、社会経済活動は一段と正常化へ進み国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、長期化するウクライナ情勢を背景とした資源・資材価格の高騰や急激な為替相場の変動等により、先行きは依然として厳しい状況が続いております。

医療業界におきましては、増加し続ける医療費を背景に医療制度改革が実施されており、効率的で質の高い医療提供体制の構築等が進められております。これにより医療機関におきましては、経営の合理化・効率化が重要課題となっております。このような状況の中、人手不足が常態化していることに加え、電力料金の高騰や輸送コストの上昇による物価高騰の影響等により、厳しい経営環境が続いております。そのため、納入業者に対する値下げ要請や大学系列病院・グループ系列病院等で商品の集約化や価格の統一化の動きはますます強まってきております。

当社グループといたしましては、このような環境の変化を的確に把握し、顧客の課題解決に向けた付加価値の高い提案を行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。また、当社グループの新たな事業展開を目的に株式会社トライテックをグループ化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35,179,023千円（前年同四半期比4.6%増）となりました。一方、利益面については、増収による売上総利益の増加があったものの、業容拡大に伴い人件費等の販売費及び一般管理費が増加したことから、経常利益は972,018千円（前年同四半期比12.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は702,934千円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

分類別の経営成績は以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
虚血性心疾患関連	7,949,926	23.6	8,288,487	23.5	338,561	4.3
心臓律動管理関連	8,958,896	26.7	9,205,263	26.2	246,366	2.7
心臓血管外科関連	5,010,657	14.9	6,157,794	17.5	1,147,136	22.9
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	3,436,110	10.2	3,945,083	11.2	508,972	14.8
医療機器関連	3,859,883	11.5	2,843,380	8.1	△1,016,502	△26.3
その他	4,401,482	13.1	4,739,014	13.5	337,531	7.7
合計	33,616,957	100.0	35,179,023	100.0	1,562,065	4.6

#### ・虚血性心疾患関連

顧客の課題解決に向けた付加価値の高い提案を行うことで、既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に努めました。その結果、主力商品であるPTCAバルーンカテーテルの販売数量が伸長したこと等により、虚血性心疾患関連の売上高は8,288,487千円（前年同四半期比4.3%増）となりました。

#### ・心臓律動管理関連

既存顧客の深耕と新規顧客の獲得に注力するため、人員の増強を図り営業活動を強化しました。その結果、不整脈の治療で使用するEPアブレーション関連商品やペースメーカの販売数量が伸長したこと等により、心臓律動管理関連の売上高は9,205,263千円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

#### ・心臓血管外科関連

経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI)やステントグラフト関連商品の販売数量が伸長したこと等により、心臓血管外科関連の売上高は6,157,794千円（前年同四半期比22.9%増）となりました。

#### ・末梢血管疾患関連及び脳外科関連

経皮的シャント拡張術で使用するPTAバルーンカテーテルや脳外科関連商品の販売数量が伸長したこと等により、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は3,945,083千円（前年同四半期比14.8%増）となりました。

・医療機器関連

医療施設の新築・増改築及び医療機器の更新情報収集を早期に行い、地域の市場動向に沿った設備投資の提案を行いました。しかしながら、前年同期に比べ大型案件が減少したため、医療機器関連の売上高は2,843,380千円（前年同四半期比26.3%減）となりました。

・その他

循環器領域以外の診療科に対する営業活動を強化し、顧客医療機関における当社グループの取扱商品の拡大を図りました。この結果、消化器関連や糖尿病関連の販売数量が伸長したこと等により、その他の売上高は4,739,014千円（前年同四半期比7.7%増）となりました。

主な分類別の取扱商品は以下のとおりであります。

分類	取扱商品
虚血性心疾患関連	当社グループの主要商品群であり、心筋梗塞や狭心症といった虚血性心疾患の治療に使用されるカテーテル等の医療機器であります。これらの医療機器を使用した治療は、患者の身体に対する負担が少ないことから、「低侵襲医療」と呼ばれております。 ＜薬剤溶出型ステント(DES)、PTCAバルーンカテーテル、血管内超音波(IVUS)診断カテーテル等＞
心臓律動管理関連	不整脈の治療に使用される医療機器であります。 ＜ペースメーカ、植込型除細動器(ICD)、両室ペーシング機能付き植込型除細動器(CRTD)、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル等＞
心臓血管外科関連	心臓疾患を治療するための外科手術の際に使用される医療機器であります。 ＜ステントグラフト、経カテーテル生体弁、人工血管、人工心肺等＞
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	末梢血管や脳血管の疾患を治療するために使用される医療機器であります。 ＜PTAバルーンカテーテル、末梢血管用ステント、塞栓用コイル等＞
医療機器関連	放射線科や手術室等で使用される医療機器であります。 ＜X線血管撮影装置、コンピュータ断層撮影装置(CT)、磁気共鳴画像診断装置(MRI)、麻酔器等＞
その他	上記以外の医療機器等であります。 ＜インスリンポンプ、持続血糖測定器、血圧トランスデューサーセット、血圧モニター用チューブ等＞

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、前連結会計年度末に比べ1,606,298千円減少し、42,277,029千円となりました。これは、電子記録債権が903,109千円増加した一方、受取手形及び売掛金が2,223,074千円、その他（流動資産）が357,913千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1,039,615千円減少し、20,061,225千円となりました。これは、その他（流動負債）が171,925千円増加した一方、支払手形及び買掛金が1,274,733千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ566,683千円減少し、22,215,804千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益により702,934千円増加した一方、前期の配当金の支払により1,420,986千円減少したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、11,499,536千円となりました。

（現金及び預金の四半期末残高）

現金及び現金同等物	11,499,536千円
預入期間が3か月を超える定期預金	5,010,203千円
現金及び預金の四半期末残高 （連結貸借対照表の現金及び預金）	16,509,739千円

主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少が1,332,461千円、法人税等の支払が527,721千円あった一方、売上債権の減少が1,549,999千円、税金等調整前四半期純利益が1,041,708千円あったこと等により1,171,957千円の収入（前年同四半期は1,055,774千円の収入）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が290,410千円あった一方、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入が150,344千円、その他が141,030千円あったこと等により964千円の収入（前年同四半期は654,154千円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期の配当金の支払が1,420,986千円あったこと等により1,445,132千円の支出（前年同四半期は1,162,870千円の支出）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,771,746	16,509,739
受取手形及び売掛金	15,676,256	13,453,181
電子記録債権	1,948,745	2,851,854
商品	2,813,288	2,859,452
その他	1,461,806	1,103,893
流動資産合計	38,671,843	36,778,121
固定資産		
有形固定資産	3,899,801	4,160,995
無形固定資産	371,938	393,182
投資その他の資産	939,743	944,730
固定資産合計	5,211,483	5,498,907
資産合計	43,883,327	42,277,029
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,543,188	15,268,455
電子記録債務	2,026,169	2,096,146
未払法人税等	447,458	390,016
賞与引当金	369,176	343,206
その他	498,056	669,982
流動負債合計	19,884,049	18,767,808
固定負債		
退職給付に係る負債	1,214,650	1,274,537
その他	2,140	18,879
固定負債合計	1,216,790	1,293,417
負債合計	21,100,840	20,061,225
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	550,000	550,000
資本剰余金	2,272,369	2,364,046
利益剰余金	20,740,823	20,022,770
自己株式	△836,142	△777,696
株主資本合計	22,727,050	22,159,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,209	44,075
退職給付に係る調整累計額	13,226	12,607
その他の包括利益累計額合計	55,436	56,683
純資産合計	22,782,487	22,215,804
負債純資産合計	43,883,327	42,277,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	33,616,957	35,179,023
売上原価	29,589,390	30,835,373
売上総利益	4,027,567	4,343,650
販売費及び一般管理費	2,920,139	3,376,469
営業利益	1,107,428	967,181
営業外収益		
受取利息	64	503
受取配当金	7	8
不動産賃貸料	807	323
その他	4,027	6,703
営業外収益合計	4,906	7,538
営業外費用		
支払利息	64	12
その他	3,374	2,688
営業外費用合計	3,439	2,701
経常利益	1,108,895	972,018
特別利益		
固定資産売却益	-	1,611
投資有価証券売却益	28,306	-
匿名組合投資利益	-	72,943
特別利益合計	28,306	74,555
特別損失		
固定資産売却損	-	4,865
事務所移転費用	50,065	-
特別損失合計	50,065	4,865
税金等調整前四半期純利益	1,087,137	1,041,708
法人税等	345,730	338,774
四半期純利益	741,406	702,934
親会社株主に帰属する四半期純利益	741,406	702,934



（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	741,406	702,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,104	1,865
退職給付に係る調整額	334	△618
その他の包括利益合計	△3,769	1,247
四半期包括利益	737,636	704,181
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	737,636	704,181

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,087,137	1,041,708
減価償却費	75,001	93,311
売上債権の増減額 (△は増加)	2,582,120	1,549,999
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△608,920	76,312
仕入債務の増減額 (△は減少)	△662,347	△1,332,461
その他	△752,756	270,308
小計	1,720,235	1,699,179
法人税等の支払額	△665,212	△527,721
その他	751	499
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,055,774	1,171,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△505,076	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	150,344
有形固定資産の取得による支出	△601,032	△290,410
その他	451,954	141,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△654,154	964
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△994,690	△1,420,986
その他	△168,180	△24,146
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,162,870	△1,445,132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△761,250	△272,210
現金及び現金同等物の期首残高	10,572,870	11,771,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,811,620	11,499,536

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。